

令和 6 年度 学校運営の方針

- 1 教育目標 創造 挑戦
- 2 指導の重点
 - 主体性・・・自分で考え、自ら行動する生徒
 - たくましさ・・・自ら鍛えるとともに協働して課題を解決する生徒
 - 心の回復力・・・困難やピンチの時も自分で気持ちを立て直せる生徒
- 3 具体的な取組
 - (1) 教育目標の具現化のため、各教科、領域をとおして「主体性」、「たくましさ」、「心の回復力」を育成する具体的な手立てを講じ、指導と評価の一体化を図る。
 - (2) 生徒が所属感や成就感がもてる集団づくりと個に寄り添った指導に充実を努める。
 - (3) ICTを活用したアウトプット型の授業を推進するとともに、個別最適な学びと協働的な学びによって確かな学力を育成する。
 - (4) 「社会に開かれた教育課程」、コミュニティ・スクールの推進によって地域と協働した「大好きにいがた」を核とした福祉教育、防災教育の充実を図り、地域の一員として地域に学び地域にかかわり、地域に誇りをもつ生徒を育成する。
 - (5) 未来創造教室や出前授業等での「出会い」を大切にし、豊かな体験活動を推進する。
 - (6) 特別支援教育の充実のため、校内委員会を核にした校内支援体制を構築し、保護者と連携を密にして、生徒一人一人の特性やニーズの把握、個別の教育支援計画と個別の指導計画を作成し、妥当な合理的配慮を提供し、支援の充実を図る。
 - (7) 令和 8 年度の部活動の地域移行を踏まえ、新潟市や南区の環境整備の状況をみながら、新潟市の方針である「自分の『やりたい』を実現する場」が実現できるよう、これからの活動の在り方を地域、保護者とともに検討する。
 - (8) 教職員が働きがいを感じ、ワークライフバランスが実現できるよう、教職員の働き方改革を推進する。